

2023年  
8月

# 南風

ふれあい南伊豆ホスピタル

第240号

● 当院では、患者様が地域で安心して暮らしていただける為の支援をすすめています ●

編集・発行 医療法人社団 辰五会 ふれあい南伊豆ホスピタル 〒415-0151 賀茂郡南伊豆町青市 848 TEL 0558-62-1461 FAX 0558-62-0510



## 医療現場の介護

患者さまの生活基盤を支え、  
より快適な生活を



### ケアワーカー(看護補助)の仕事

人は年齢を重ねるごとに、歩行や食事、着替え、入浴、排泄などの日常生活にかかわる機能が低下していきます。ケアワーカーは、その専門知識や技術をもって、患者さまのお世話をする仕事です。

当院においても、入院されている患者さまの大半が70～90歳代の年齢層に入ります。そのため、患者さまへのケアは看護師だけでなく、ケアワーカーとの協働で行っています。単に「出来ない部分を補う」だけでなく、「患者さまお独りで出来そう」「少しの介助で出来そう」という部分を見つけ、患者さま一人ひとりが持っている力を発揮できるような工夫をしています。

### 1日の仕事の流れ





## ケアワーカーさんに聞きました



**Q&A** 【聞き手(Q)：広報委員会 / 回答(A1)：杉山 紫乃、(A2)：櫻田 良二】

**Q1**：普段の業務で心掛けていることは？

**A1**：患者さまと直にふれあう場面が多いので、声かけや対話を積極的に行っています。相談事も、出来る範囲で応じるようにしています。

**A2**：現在担当している病棟は 要介護度が高い方々が多いため、日常の動作ひとつひとつに介助が必要です。一人一人に対して することが多い分、それに追っかけられないようにしなくてはならないと思っています。

**Q2**：当院の職員として患者さまをケア(介護)するのと、ご家族や親類などの近い人をケアするのは、同じ感覚で出来るものですか？

**A1**：患者さまをケアする気持ちは、家族や大切な人をケアする気持ちと変わらないですね。

**A2**：以前父親の介護をした経験がありますが、身内だとお互いに恥ずかしさや気まずさが前に出てしまって大変でした。仕事として行うときにはそれをあまり感じない分、感覚的に違うなと思いました。


**Q3**：患者さまのご家族から「最近の様子はどうですか？」と訊かれたらどのように受け答えをしていますか？

**A1**：その方の普段の様子をそのままお伝えしています。たまに「迷惑かけていませんか？」と訊かれることもあります。その場合も「少しはありますが、今は落ち着かれて大丈夫ですよ」など、ご家族に安心していただけるような言葉かけをしています。

**A2**：日々の生活の様子をそのままお伝えしています。病状の説明は看護師に伝えてもらうようにして、自分はより生活に密着した視点(睡眠、食事の様子など)から伝えられるようにしています。

### ..... 連携を進めていくために あとがきを兼ねて .....

私がこの広報『南風』を担当するようになって何年か経ちますが、ケアワーカーさんにスポットを当てた記事がなかったと思い、今回の特集に至りました。普段の私の業務では、病棟は「用事がある時に出向く」場であり、勤務時間内は担当の病棟に「ずっと居る」看護師やケアワーカーの方々とは、患者さまを見る視点に違いがあるのではないかと最近感じるようになりました。この視点の違いを「<sup>なら</sup>均していく」ことはおそらくとても難しいことで、むしろ違いは違いのまま、それぞれの職種がそれを受け入れて、視点が異なることで新たな見方が生まれることを目指して、患者さまを理解する幅を広げていけるようにしていきたいです。

 文：神谷正光 (臨床心理士)



夏真っ盛り!ご自愛くださいませ。

ふれあい南伊豆ホスピタル  
☎0558-62-1461



2023年8月発行 Vol.240

【監 修】山本 善治

【構成・編集】神谷 正光

【デザイン】F&Y

【作業協力】支援センターふれあい

利用者の皆さん

ふれあい南伊豆ホスピタル

広報委員会